



プレミアグループ株式会社 東証プライム 7199

2027年 3 月期 第 1 四半期 決算説明資料

2026年 8 月10日



01 事業内容

02 決算ハイライト

03 カープレミアクラブ

04 マーケット・KPI

05 連結決算概要

06 セグメント別決算概要

07 Appendix



01 事業内容

02 決算ハイライト

03 カープレミアクラブ

04 マーケット・KPI

05 連結決算概要

06 セグメント別決算概要

07 Appendix

- ・ **プレミアグループ**は、唯一無二の**オートモビリティプラットフォーム企業**として、金融事業及び非金融事業の複合的な展開により、モビリティ業界の発展とお客様の豊かなカーライフに貢献します

主要事業

金融事業

ファイナンス事業

主な事業

・オートクレジット（個品割賦） ・サービサー ・海外ファイナンス

非金融事業

故障保証事業

主な事業

・自動車の故障保証 ・海外故障保証

オートモビリティサービス事業

主な事業

・会員組織の運営 ・サブスク（リース） ・自動車整備工場の運営
・車両卸販売 ・ソフトウェア販売 ・自動車部品販売

金融事業 / 非金融事業割合

（単位：百万円）

2027年3月期1Q

	営業収益	営業利益	税引前利益
金融事業	6,366 構成割合 52.3%	1,355 構成割合 53.9%	1,320 構成割合 52.3%
非金融事業	5,808 構成割合 47.7%	1,158 構成割合 46.1%	1,204 構成割合 47.7%
合計	12,174	2,514	2,524

（注）上表は、決算短信記載のセグメント数値とは異なります。



01 事業内容

02 決算ハイライト

03 カープレミアクラブ

04 マーケット・KPI

05 連結決算概要

06 セグメント別決算概要

07 Appendix

- 物価高や市場金利の上昇など事業環境の影響を受けるも、オートモビリティサービス事業の伸長により**増収増益**
- 前期に発生していたシステム障害に伴う対応費用の収束※により、**税引前利益**は前年比**+47.8%**
- クレジット取扱高が**前年比プラス**へ**回復**したほか、**主要KPI**も**着実に伸び**、中期経営計画の初年度として順調なスタート

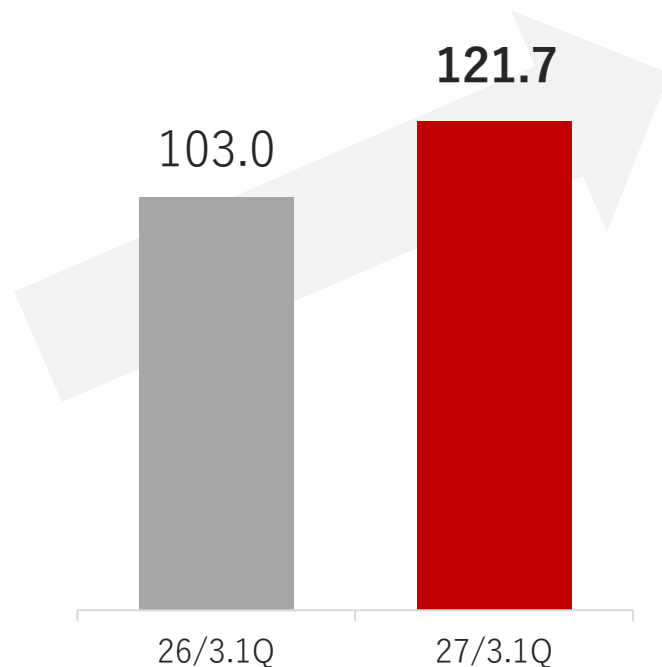
業績

(グラフ単位：億円)

営業収益

前年比

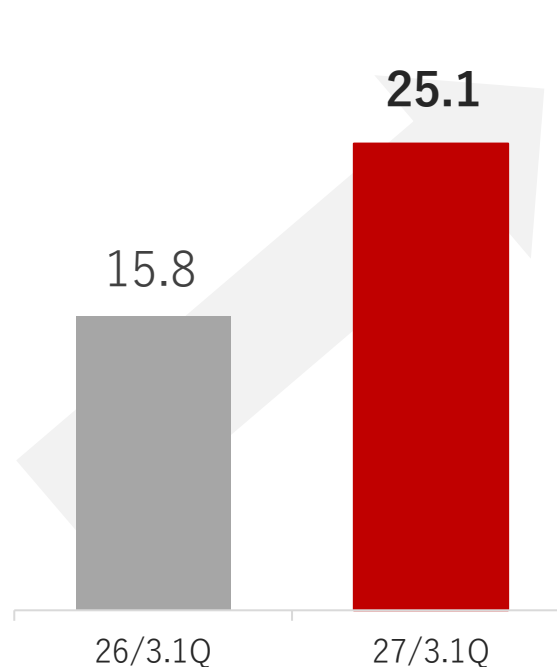
+18.2%



営業利益

前年比

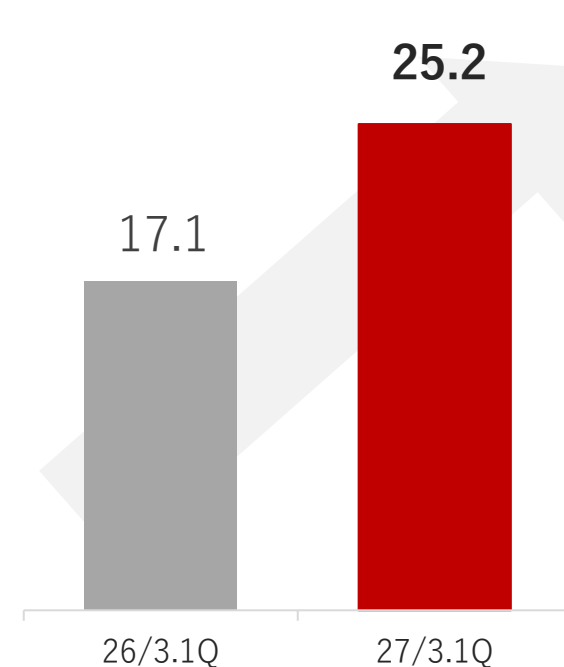
+58.6%



税引前利益

前年比

+47.8%



(注) 2026年3月期第3四半期まで記載しておりました「将来収益」につきましては、[Appendixページ](#)へ移動しております。将来収益とは、既締結の契約等に基づき、将来にわたり計上が見込まれるストック収益となります。

(※) 2026年3月期第1四半期において、ファイナンス事業の基幹システム障害対応に伴い約7億円の費用が発生しておりました。



01 事業内容

02 決算ハイライト

03 **カープレミアクラブ**

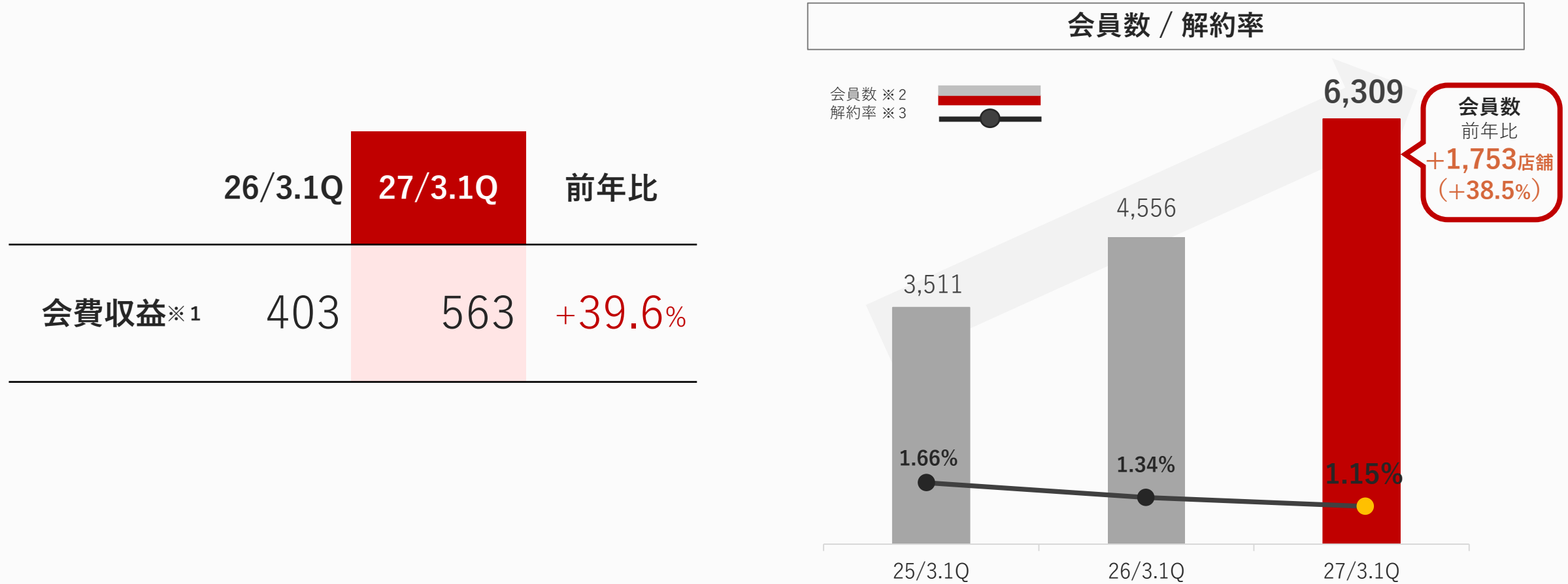
04 マーケット・KPI

05 連結決算概要

06 セグメント別決算概要

07 Appendix

- ・ 新中計の根幹をなすカープレミアクラブの重要KPI（会費収益、解約率）を2027年3月期より新たに開示
- ・ 会員数の純増と低水準な解約率の維持により、会費収益は前年比+39.6%と大幅増加
- ・ カープレミアクラブの強固な会員基盤が、当社独自の経済圏拡大とストック収益の力強い成長を牽引



(※) 1. 会費収益とは、オートモビリティサービス事業セグメントに計上される営業収益となります。
 2. 会員数とは、車両販売店向け「カープレミアディーラー」および整備工場向け「カープレミアガレージ」の合計会員数となります。
 3. 解約率とは、各月の解約率（当月解約数 ÷ 前月末会員数）を算出し平均した月次平均解約率となります。



01 事業内容

02 決算ハイライト

03 カープレミアクラブ

04 マーケット・KPI

05 連結決算概要

06 セグメント別決算概要

07 Appendix

- 新車販売台数は税制変更等の影響により一時的に増加も、中古車登録台数は依然として横ばいで推移
- クレジット取扱高は前年比プラスへ回復し、故障保証取扱高も順調に拡大

国内マーケット※

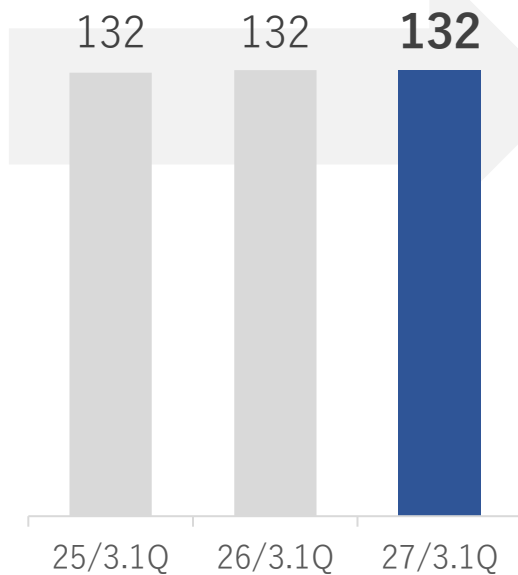
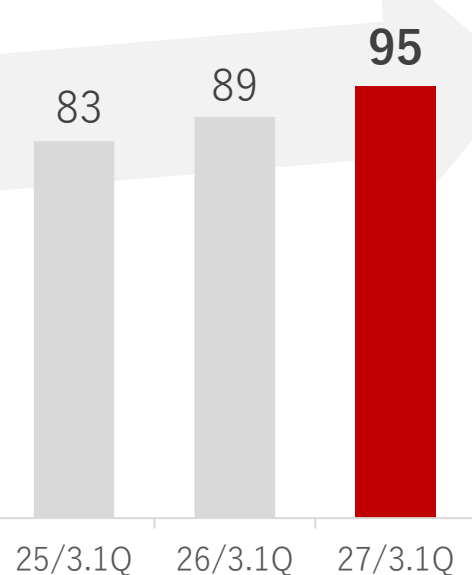
新車販売台数

前年比
+7.5%

(グラフ単位：万台)

中古車登録台数

前年比
▲0.1%



KPI

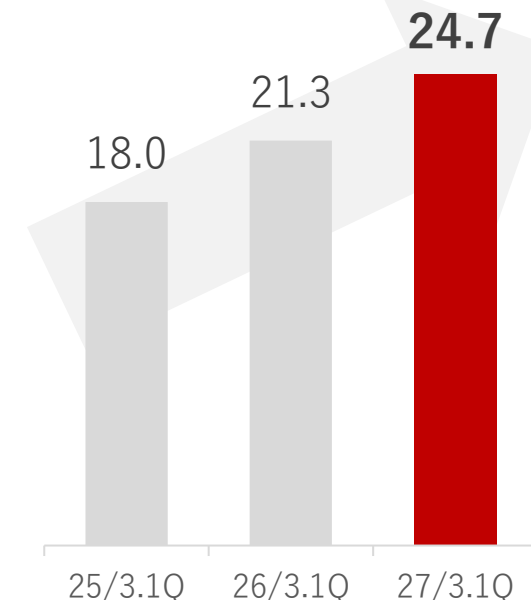
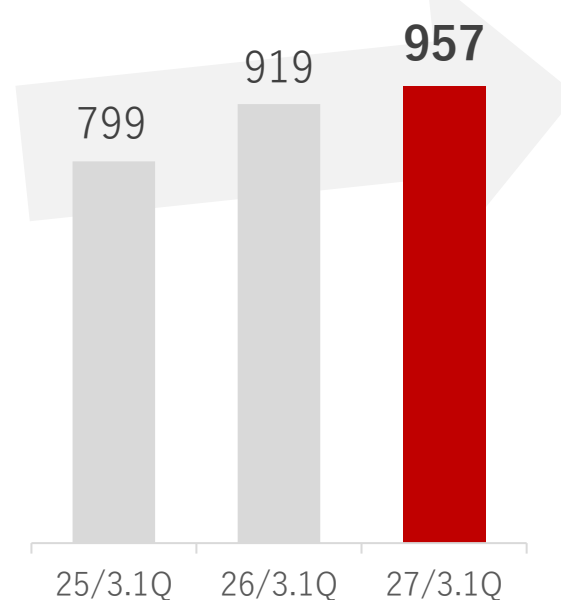
(グラフ単位：億円)

クレジット取扱高

前年比
+4.2%

故障保証取扱高

前年比
+16.3%





01 事業内容

02 決算ハイライト

03 カープレミアクラブ

04 マーケット・KPI

05 連結決算概要

06 セグメント別決算概要

07 Appendix

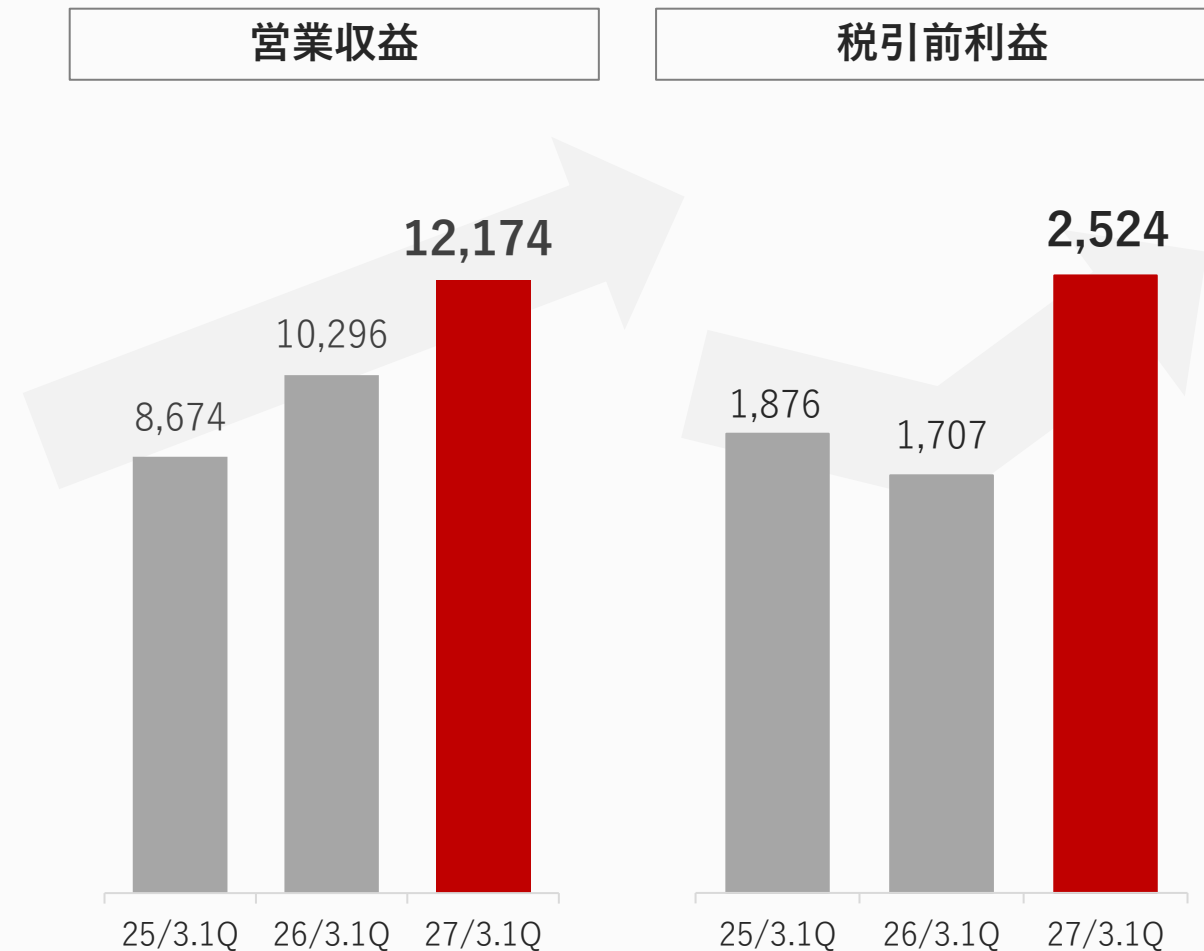
連結業績

(単位：百万円)



- 各事業における**ストック収益の積み上げ**やオートモビリティサービス事業の伸長により、**営業収益は前年比+18.2%**
- システム障害に伴う対応費用の収束**もあり、前年比で**大幅な増益**を達成

	26/3.1Q	27/3.1Q	前年比
営業収益	10,296	12,174	+18.2%
営業費用	8,711	9,661	+10.9%
営業利益	1,585	2,514	+58.6%
税引前利益	1,707	2,524	+47.8%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,214	1,742	+43.5%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	31.93	44.88	+40.5%



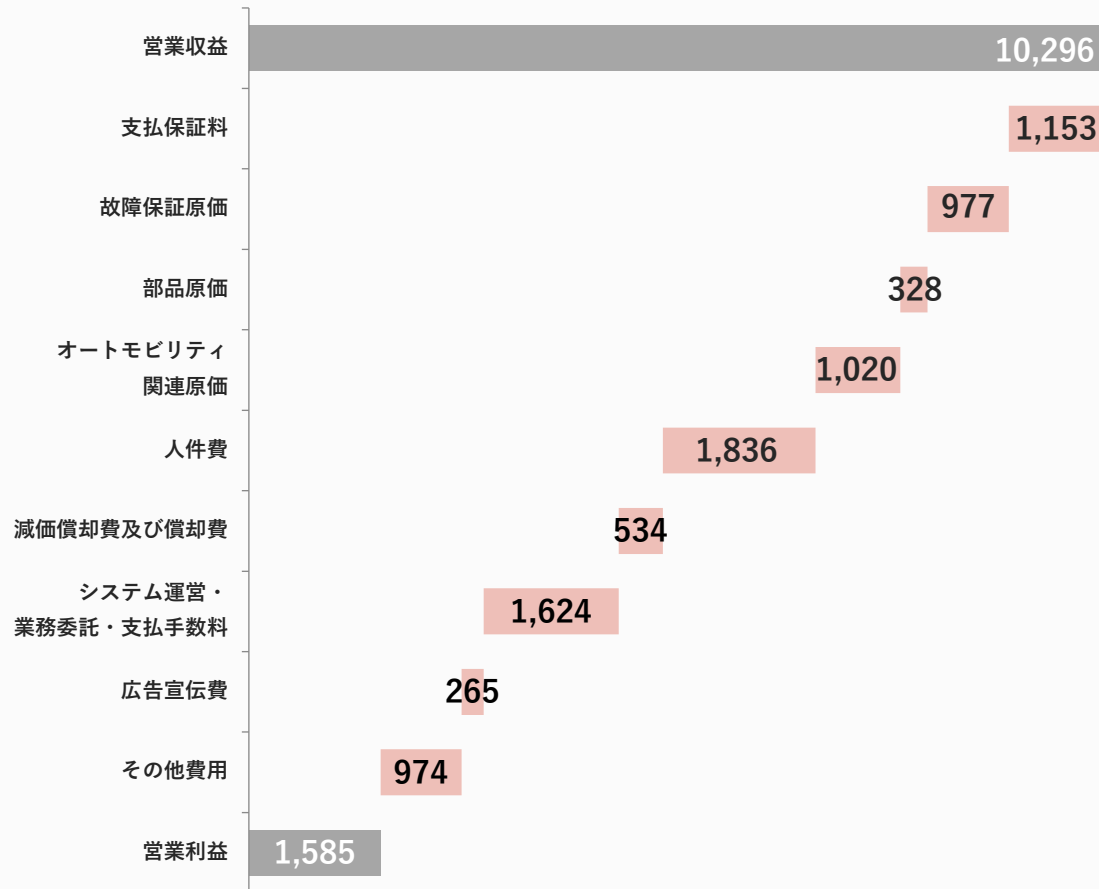
営業費用（内訳）の推移

（単位：百万円）

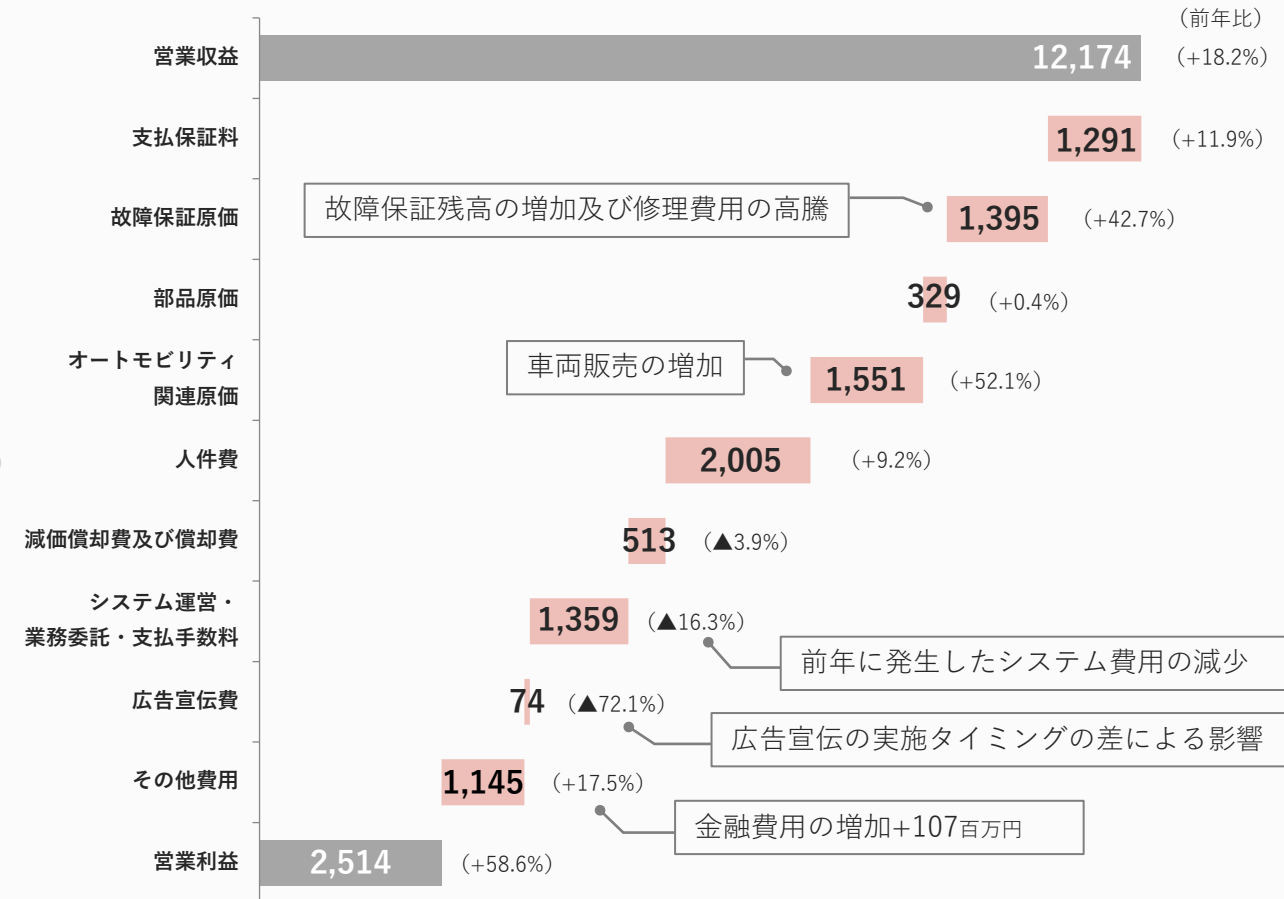


- 営業収益の増加率+18.2%に対し、営業費用の増加率は+10.9%と低い水準で推移

26/3.1Q 営業費用 8,711百万円



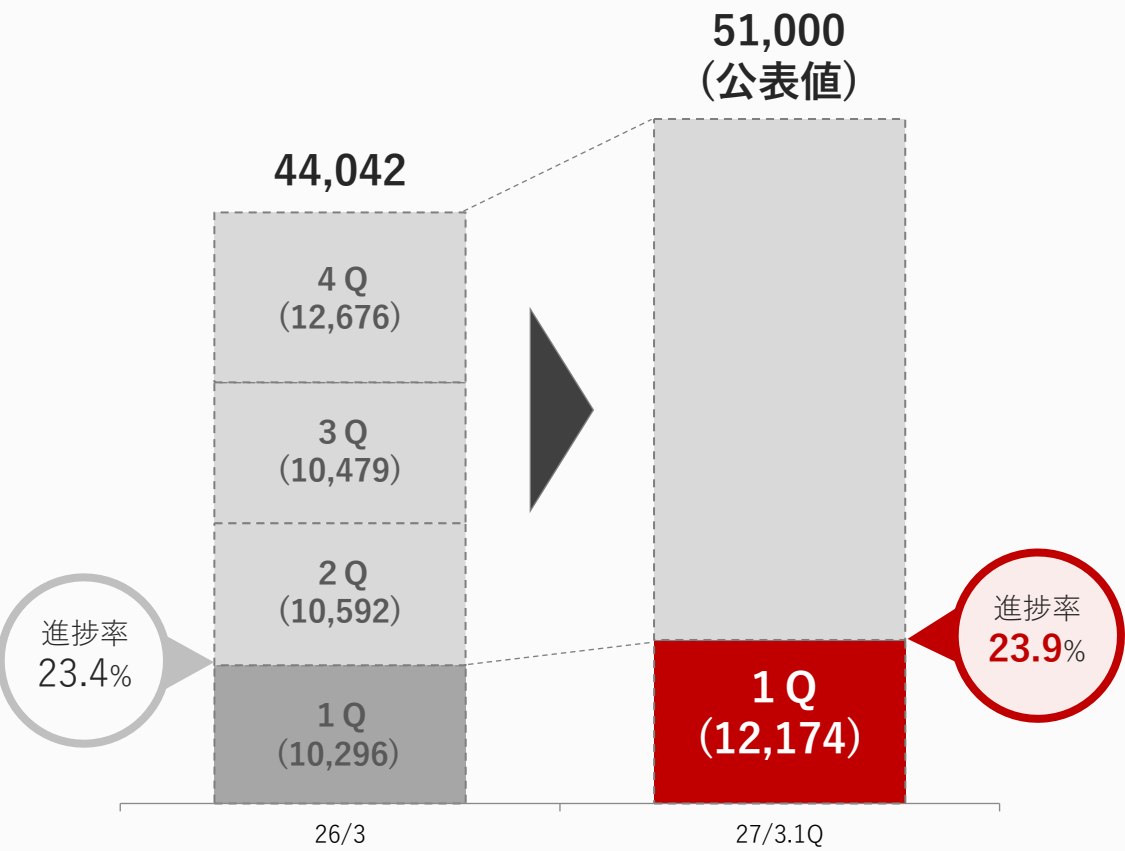
27/3.1Q 営業費用 9,661百万円（前年比 +10.9%）



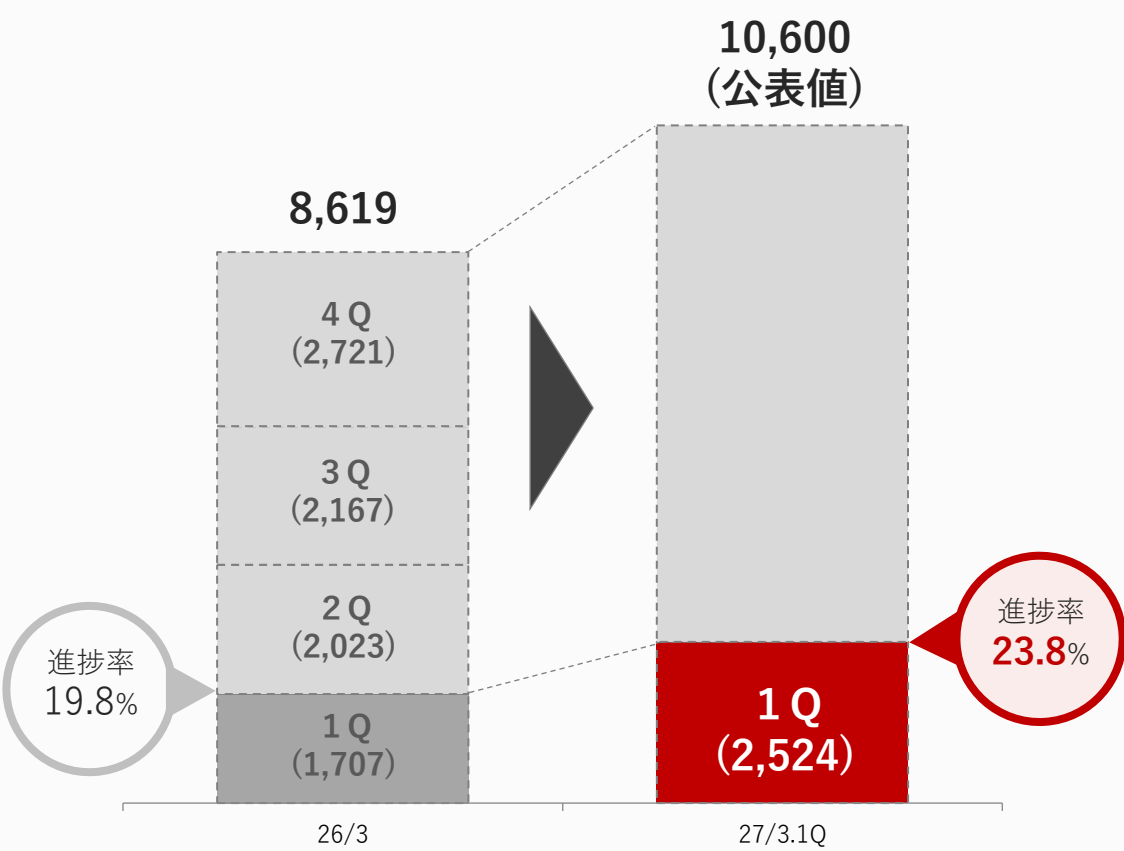
通期業績見通し

- カープレミアクラブの拡大を背景に、第1四半期時点は**通期予想**に対し**順調に進捗**
- ストック収益の蓄積と各事業の伸長を通じ、新中期経営計画の目標達成に向けた取り組みを着実に推進

営業収益



税引前利益





01 事業内容

02 決算ハイライト

03 カープレミアクラブ

04 マーケット・KPI

05 連結決算概要

06 セグメント別決算概要

07 Appendix

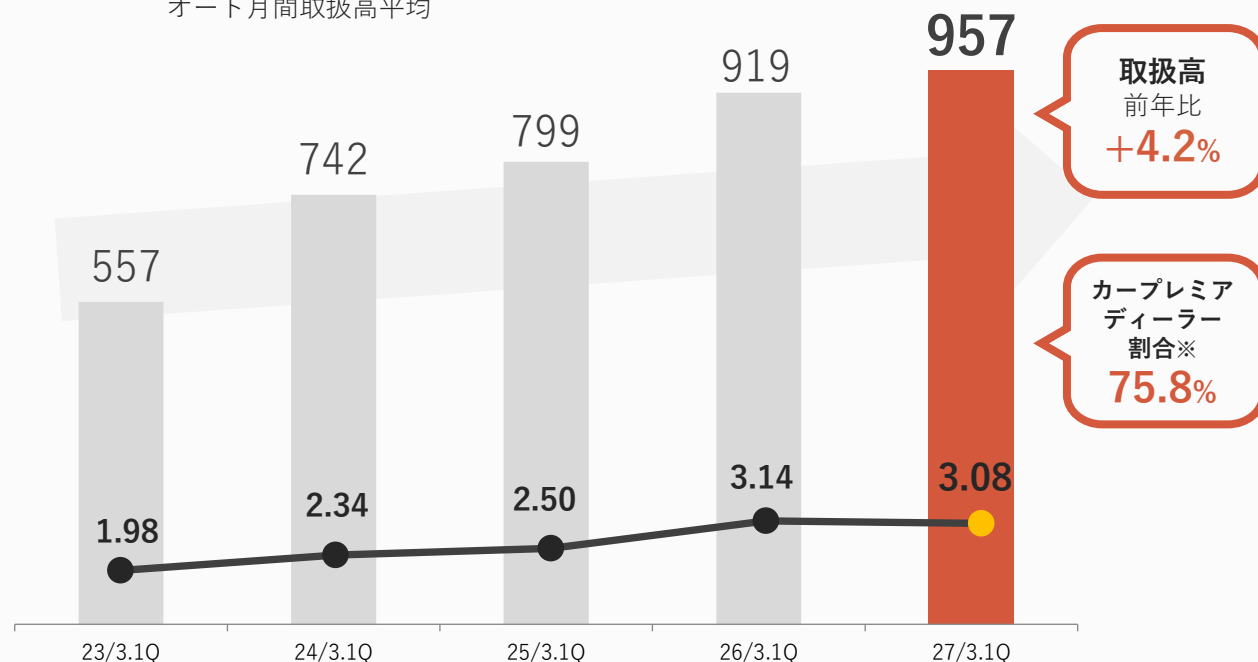
- ・ **クレジット取扱高**は前年比**+4.2%**とプラス成長へ回復し、**クレジット債権残高**の**拡充**に寄与
- ・ **延滞債権残高率**は**順調に改善**しており、正常化に向けて着実に推移

クレジット取扱高

クレジット取扱高

オートPH

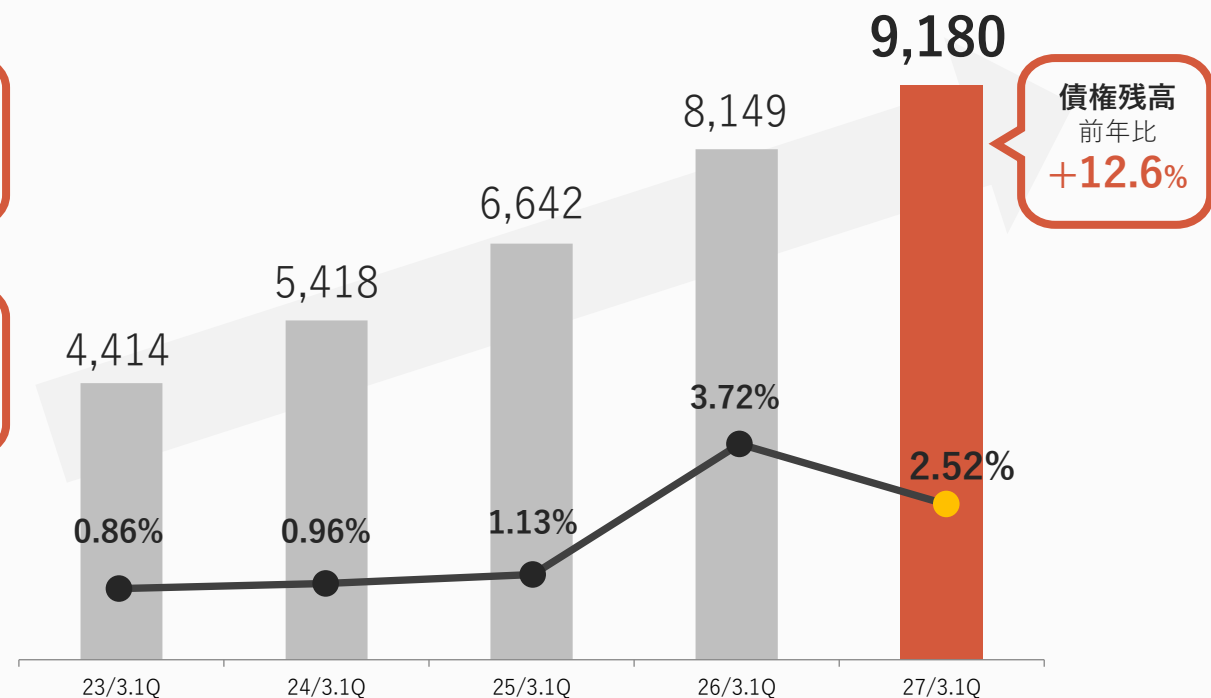
オートPH…オート営業1人あたりの
オート月間取扱高平均



クレジット債権残高

クレジット債権残高

延滞債権残高率



(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約（エコロジークレジットを含む）・リース保証契約の合算値となります。

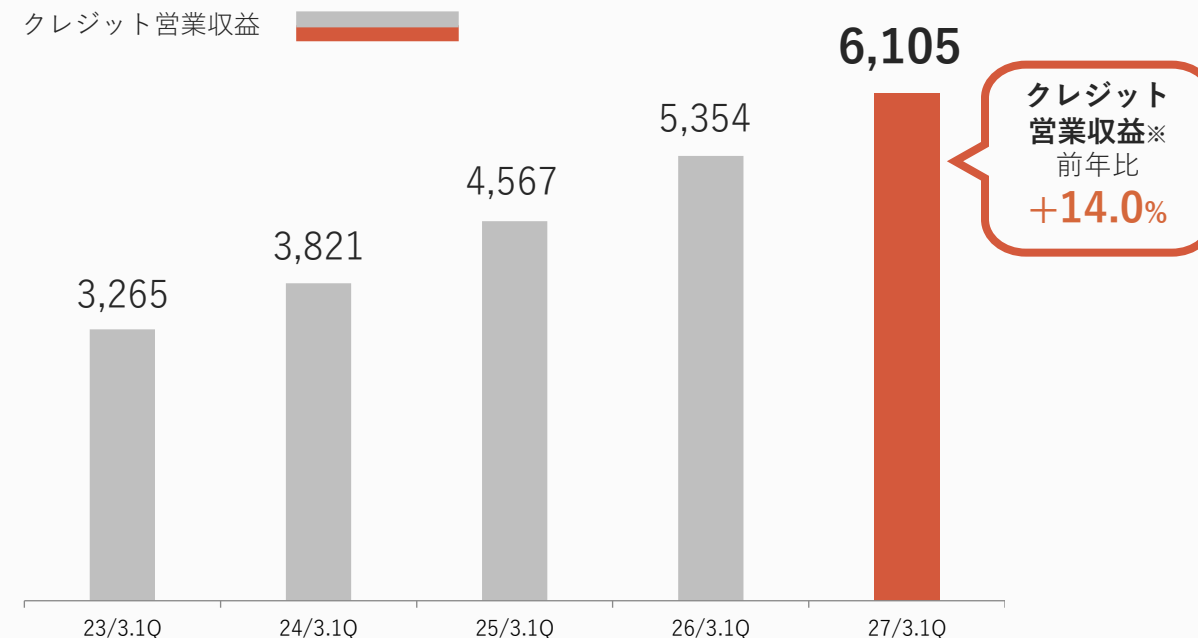
2. 延滞債権残高率とは、当該期末時点のクレジット債権残高に対して、延滞月数が3ヵ月を超える債権及び特別債権（司法介入債権）の合計額が占める割合となります。

(※) カープレミアディーラー割合とは、クレジット取扱高のうちオートクレジットのみを対象に算出した割合となります。

- クレジット債権残高の着実な積み上がりを背景に、**営業収益は前年比+9.8%**
- 前期に発生した**システム障害に伴う対応費用の収束**も影響し、**営業利益は前年比+63.6%**

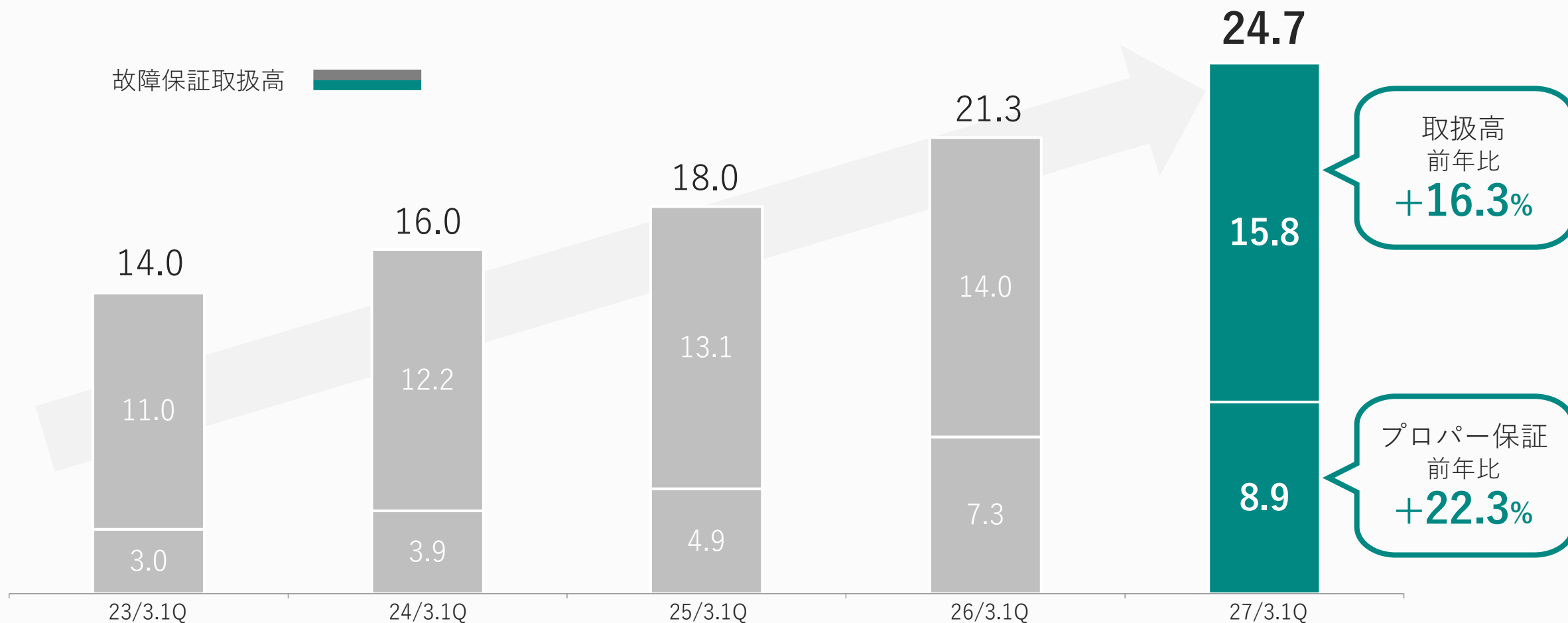
	26/3.1Q	27/3.1Q	前年比
営業収益	5,797	6,366	+9.8%
営業利益	843	1,380	+63.6%
税引前利益	853	1,345	+57.7%

クレジット営業収益



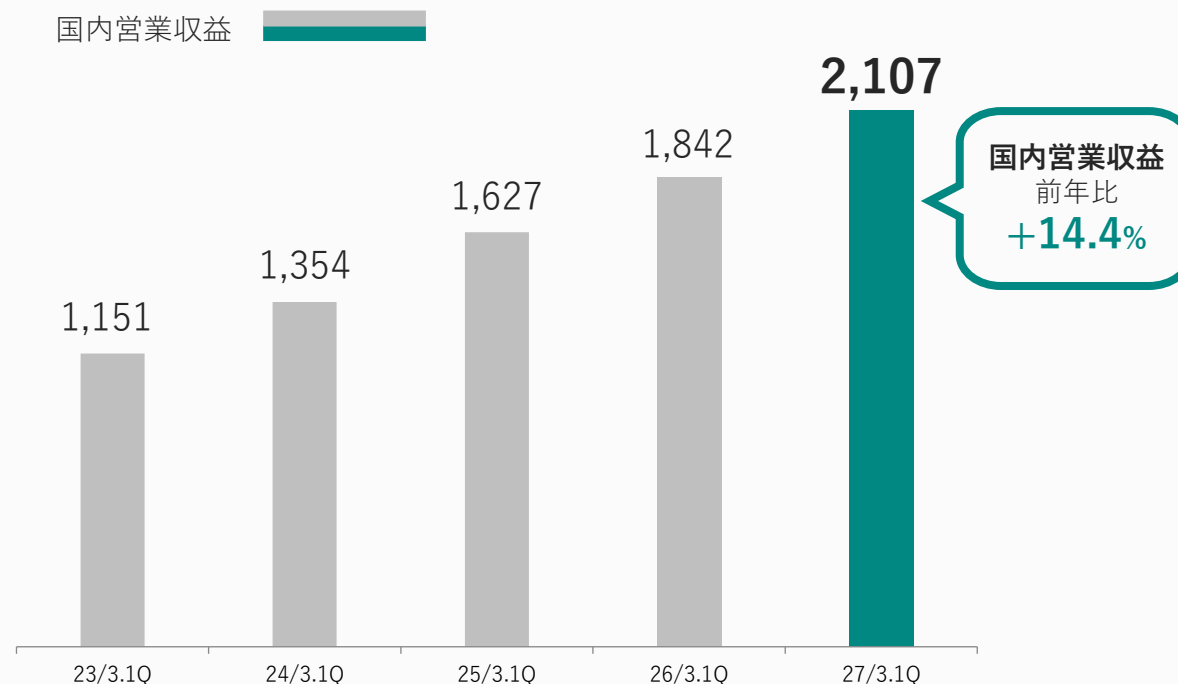
(※) サービサー、海外関連会社等を除く、国内クレジットにかかる営業収益を集計しております。

- 故障保証取扱高は前年比+16.3%と拡大を継続
- プロパー保証は前年比+22.3%と伸長し、引き続き取扱高の成長と収益性向上を牽引



- 故障保証取扱高の着実な増加により、**国内営業収益**は前年比**+14.4%**
- 価格改定**を実施も、**値上げ効果**の浸透に**タイムラグ**が生じ、**修理原価の上昇**を吸収できず、**国内営業利益**は前年比**▲3.1%**
- 第2四半期以降、トップラインの拡大と、グループ子会社からの部品調達による原価抑制を通じて、利益率の回復を目指す

	26/3.1Q	27/3.1Q	前年比
営業収益 [国内営業収益※]	1,889 [1,842]	2,327 [2,107]	+23.2% [+14.4%]
営業利益 [国内営業利益※]	358 [361]	419 [349]	+16.9% [▲3.1%]
税引前利益 [国内営業税引前利益※]	391 [385]	471 [397]	+20.4% [+3.2%]

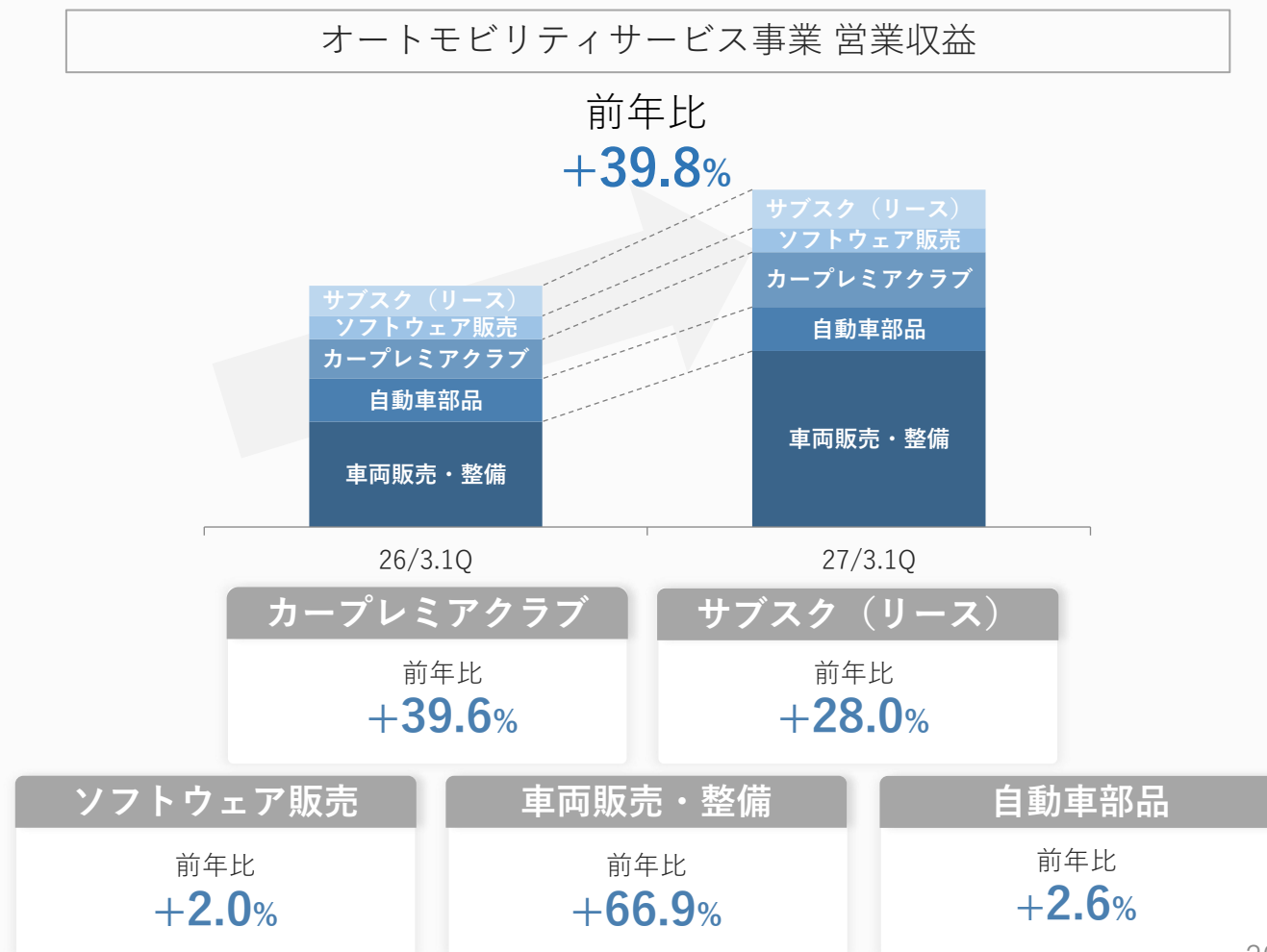


(注) 2027年3月期第1四半期より、国内保証事業営業収益の集計方法を一部変更し、国内営業収益として表示しております。

(※) 海外子会社及び持分法投資利益の影響を除外した、国内保証事業の数値を記載しているため、決算短信記載のセグメント数値とは異なります。

- ・ **カープレミアクラブ会員の拡大**に加え、車両販売の大幅な増加により、**営業収益は前年比+39.8%**
- ・ 前年同期の利益水準が低かったことの反動及び営業費用の抑制も寄与し、**営業利益は前年比+173.9%**

	26/3.1Q	27/3.1Q	前年比
営業収益	2,485	3,475	+39.8%
営業利益	264	722	+173.9%
税引前利益	262	711	+170.8%





01 事業内容

02 決算ハイライト

03 カープレミアクラブ

04 マーケット・KPI

05 連結決算概要

06 セグメント別決算概要

07 Appendix

主なトピックス

提携クレジットカード 「カープレミアVisaカード」 誕生



伊藤忠商事グループのポケットカード(株)と提携し、オートクレジットと同時申込可能なクレジットカードの受付を開始。顧客利便性の向上を通じ、カープレミア経済圏の拡大を推進

▶リリースは[こちら](#)

バイク王との複合店舗 「カープレミア西東京店」 オープン



(株)バイク王&カンパニーとの合併事業により、四輪・二輪の複合店舗をオープン。両社の強みとノウハウを融合し、次世代モビリティサービスの創出を加速

▶リリースは[こちら](#)

総額85億円 無担保社債を発行



資金調達手段の多様化と安定的な成長資金の確保を目的に、当社初となる無担保社債を発行。将来の事業拡大に向けた強固な財務基盤を構築

▶リリースは[こちら](#)

「日経・東証IRフェア2026」 に出展予定

日経・東証 IRフェア2026

個人投資家との対話機会の創出と当社認知度の向上を目的に出展

出展日
2026年8月28日(金)
2026年8月29日(土)

社名	プレミアグループ株式会社
証券コード／市場	7199 ／ 東京証券取引所 プライム市場
設立	2015年5月25日 ※2007年 プレミア株式会社設立（旧社名：株式会社ジー・ワンクレジットサービス）
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	40,722,663株 2026年6月末時点
資本金	1,827百万円 単体／2026年6月末時点
従業員数	953名 連結／2026年6月末時点 （※）臨時雇用者を除くグループ従業員数
グループ内容	国内及び海外※における各事業 ・カープレミア(自動車販売店、自動車整備工場の会員組織運営) ・ファイナンス事業 ・故障保証事業 ・オートモビリティサービス事業 ※海外 （タイ王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国等）

中期経営計画「Change & Prove 2030」 サマリー

経営数値目標（2030年3月期）

営業収益	税引前利益	当期利益	PER	時価総額
840 億円 26/3比 +91%	210 億円 26/3比 +144%	140 億円 26/3比 +133%	22 倍 26/3実績 11倍	3,000 億円 26/3比 +343%

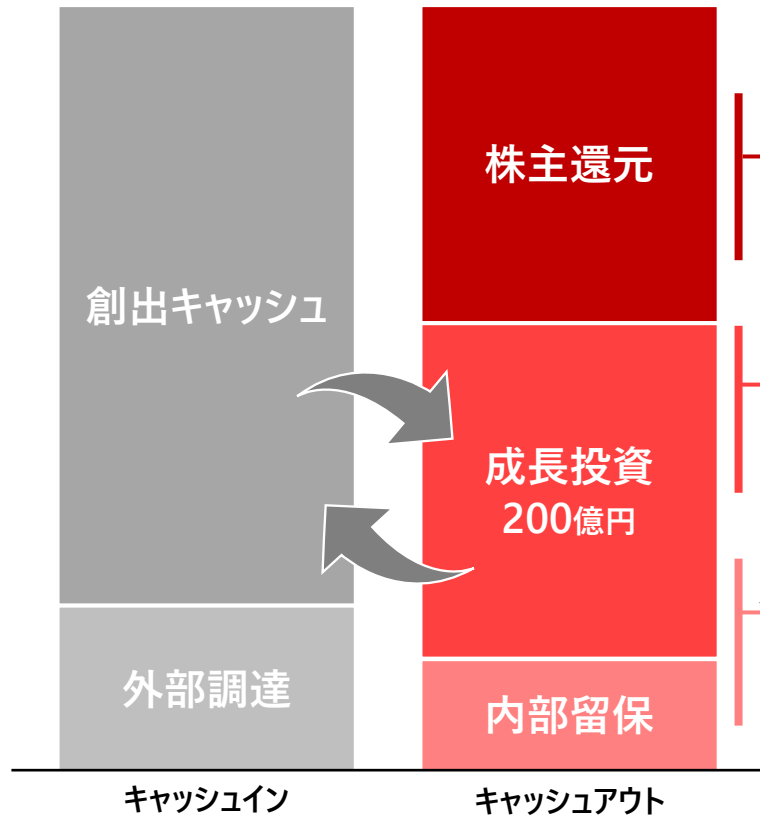
マテリアリティ/重要指標

Materiality	VISION 2030	主要KPI	30/3期 目標
カープレミアクラブ会員組織の強化 会員組織の収益とサービスの両軸成長	オートモビリティエコシステムの完成 	カープレミア会費収益 - 金利依存しないストック型収益への転換 -	50 億円
事業者にとっての必須インフラ 高い集客力とサービス力で経営を支援		Churn Rate - 離れない経済圏の証明 -	1.0 %以下
ユーザーの経済圏への取り込み 誰もが知っている・使いたいブランドへ		既存ダイヤモンド会員LTV - 1店舗あたりの深耕の証明 -	2.5 倍
サービスを支えるIT強化とデータ戦略 業界内での圧倒的差別化を実現する源泉			

▶詳細は[こちら](#)

4年間で創出するキャッシュを成長投資と株主還元および財務の健全性確保へ適切に配分

■キャッシュアロケーション



30/3期に総還元性向50%目標

- 増配継続（配当性向30%超）
- 継続的に自己株式を取得予定

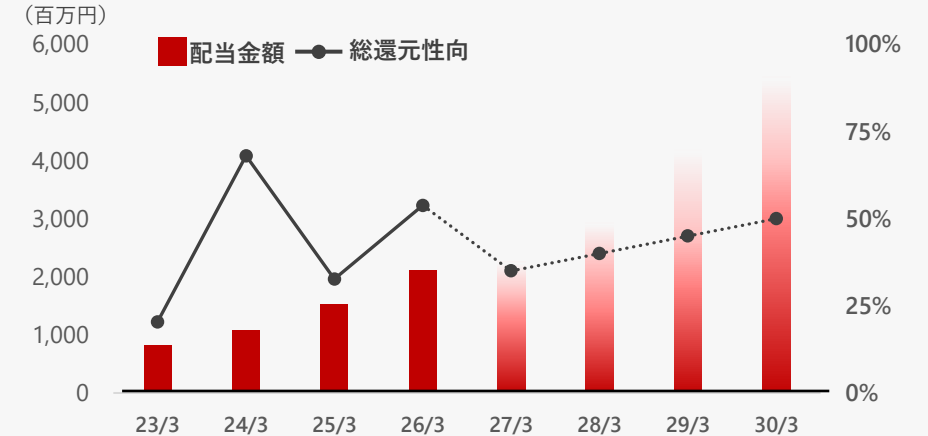
コア事業拡大 / 持続的成長投資

- M&A投資/新規事業投資（国内外）
- DX投資/人的投資/設備投資

財務の健全性確保

- 財務の安定性向上
- 格付けの引き上げ

■株主還元



その他財務方針

直接調達の強化による資金調達の最適化

✓ 格付け「A+」取得

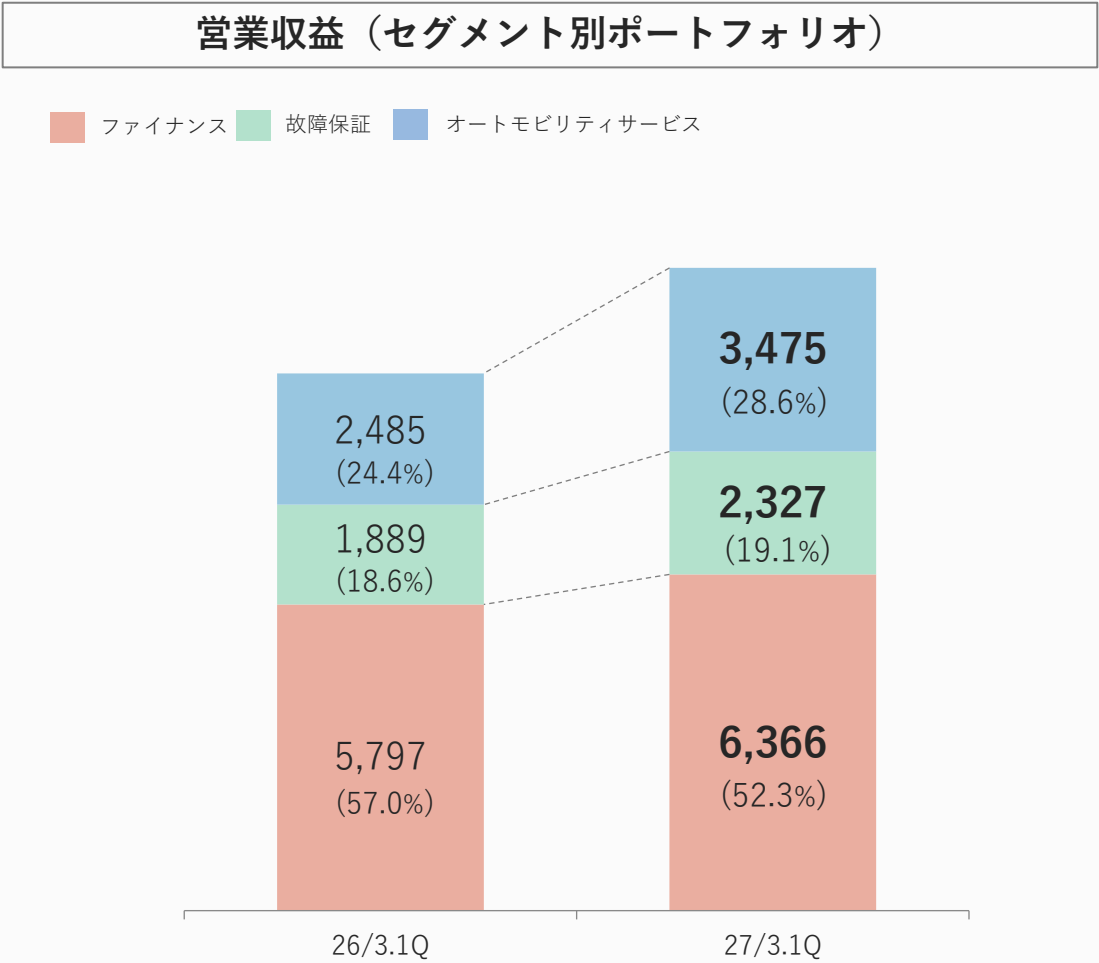
タイムリーな自己株の消却

✓ 経営環境や財務状況を踏まえ、自己株取得を機動的に判断

✓ 発行株式5%を上回る部分を定期的に消却

セグメント別業績一覧

	2027年 3 月期 1 Q		
	営業収益	営業利益	税引前利益
ファイナンス事業	6,366 前年比 +9.8%	1,380 前年比 +63.6%	1,345 前年比 +57.7%
故障保証事業	2,327 前年比 +23.2%	419 前年比 +16.9%	471 前年比 +20.4%
オートモビリティサービス事業	3,475 前年比 +39.8%	722 前年比 +173.9%	711 前年比 +170.8%



	26/3 (2026年3月31日)	27/3.1Q (2026年6月30日)	前期末比
資産の部			
現金及び現金同等物	26,111	20,561	△21.3%
金融債権	91,122	94,895	+4.1%
その他の金融資産	10,150	9,783	△3.6%
有形固定資産	5,046	4,775	△5.4%
無形資産	8,697	8,663	△0.4%
のれん	4,197	4,197	+0.0%
持分法投資	4,894	4,909	+0.3%
繰延税金資産	424	538	+26.8%
保険資産	32,681	33,170	+1.5%
その他の資産	15,642	13,825	△11.6%
資産合計	198,965	195,315	△1.8%
負債の部			
金融保証契約（※１）	56,913	57,578	+1.2%
故障保証前受収益（※２）	9,247	9,501	+2.7%
借入金	85,009	82,909	△2.5%
その他の金融負債	13,390	12,353	△7.7%
引当金	468	482	+3.0%
未払法人所得税	1,716	488	△71.6%
繰延税金負債	899	1,259	+40.0%
その他の負債（※３）	6,028	5,175	△14.1%
負債合計	173,670	169,745	△2.3%
資本の部			
親会社の所有者に帰属する持分			
資本金	1,817	1,827	+0.5%
資本剰余金	2,574	2,609	+1.3%
利益剰余金	22,204	22,896	+3.1%
自己株式	△ 2,303	△ 2,779	+20.7%
その他の資本の構成要素	977	998	+2.1%
親会社の所有者に帰属する持分合計	25,270	25,551	+1.1%
非支配持分	24	19	△22.8%
資本合計	25,295	25,570	+1.1%
負債及び資本合計	198,965	195,315	△1.8%

将来収益（繰延収益）※

全体
681億円
 前年比 **+6.3%**

ファイナンス※１
576億円
 前年比 **+5.1%**

故障保証※２
95億円
 前年比 **+12.4%**

ソフトウェア事業・
 カープレミアクラブ会費※３
10億円
 前年比 **+21.4%**

(※) １．金融保証契約の一部を抜粋しております。
 ２．故障保証前受収益と同額となります。
 ３．その他の負債の一部を抜粋しております。

P&L（連結会計期間）

（単位：百万円）



連結会計期間	26/3.1Q (2025年4月1日～ 2025年6月30日)	26/3.4Q (2026年1月1日～ 2026年3月31日)	27/3.1Q (2026年4月1日～ 2026年6月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益	10,296	12,676	12,174	+18.2%	△4.0%
営業費用	8,711	9,940	9,661	+10.9%	△2.8%
営業利益	1,585	2,736	2,514	+58.6%	△8.1%
持分法による投資利益	29	31	24	△15.4%	△21.9%
その他の金融収益	108	△ 7	32	△70.2%	-
その他の金融費用	14	38	46	+234.4%	+19.5%
税引前当期（四半期）利益	1,707	2,721	2,524	+47.8%	△7.3%
法人所得税費用	491	711	780	+58.7%	+9.6%
当期（四半期）利益	1,216	2,010	1,744	+43.4%	△13.2%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	1,214	2,008	1,742	+43.5%	△13.3%
非支配持分に帰属する利益	2	2	2	+27.9%	+35.8%

P&L（連結会計期間／営業収益・営業費用）

(単位：百万円)



連結会計期間	26/3.1Q (2025年4月1日～ 2025年6月30日)	26/3.4Q (2026年1月1日～ 2026年3月31日)	27/3.1Q (2026年4月1日～ 2026年6月30日)	前年同期比	前 Q 比
営業収益					
金融収益	5,020	5,210	5,403	+7.6%	+3.7%
故障保証収益	1,864	2,098	2,304	+23.6%	+9.8%
オートモビリティ関連売上	1,724	2,608	2,569	+49.0%	△1.5%
その他手数料売上	705	849	930	+32.0%	+9.6%
部品売上	442	343	454	+2.8%	+32.4%
金融資産の減損利得	322	1,064	381	+18.1%	△64.2%
保険履行収益	-	301	-	-	-
その他	219	202	133	△39.3%	△34.4%
合計	10,296	12,676	12,174	+18.2%	△4.0%

連結会計期間	26/3.1Q (2025年4月1日～ 2025年6月30日)	26/3.4Q (2026年1月1日～ 2026年3月31日)	27/3.1Q (2026年4月1日～ 2026年6月30日)	前年同期比	前 Q 比
営業費用					
金融費用	229	307	336	+46.5%	+9.5%
故障保証原価	977	1,180	1,395	+42.7%	+18.2%
オートモビリティ関連原価	1,020	1,499	1,551	+52.1%	+3.5%
支払保証料	1,153	1,235	1,291	+11.9%	+4.5%
部品原価	328	243	329	+0.4%	+35.5%
従業員給付費用	1,796	1,951	1,969	+9.6%	+0.9%
減価償却費及び償却費	534	530	513	△3.9%	△3.2%
支払手数料	358	504	444	+24.0%	△11.9%
租税公課	357	368	374	+4.7%	+1.7%
システム運営費	663	317	335	△49.4%	+5.7%
業務委託料	357	317	349	△2.3%	+10.2%
その他営業費用	937	1,491	775	△17.4%	△48.0%
合計	8,711	9,940	9,661	+10.9%	△2.8%



本資料に掲載されているIR情報は、プレミアグループ株式会社及び関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は本資料の情報を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。本資料に情報を掲載する際には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に含まれる著作物は、著作権法により保護されており、それらが無断で複製、改編、翻訳、頒布、実演または展示することは禁止されております。本資料への情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことは控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。